



地域の福祉、みんなで参加
10月1日から翌年3月31日まで
実施しています。



※翌年1月1日から
3月31日までは、
テーマ募金期間
みなさまのご協力
をお願いいたします。



社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/

この度の豪雨災害で被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。徳島県内の社会福祉協議会では「四国ブロック県社会福祉協議会災害時支援協定」に基づき、愛媛県大洲市社協への職員派遣を行い、災害ボランティアセンターや特例貸付窓口等において、地域住民の生活支援や相談業務などを行いました。(期間：7/17～8/31・派遣数：延べ48名)

「平成30年7月豪雨災害」
愛媛県大洲市支援活動



災害ボランティアセンター

オリエンテーション

ニーズ調査

職員派遣
出発式

資機材班

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。



ボランティア・NPOの情報紙
44号 september.2018

とくしま県民活動プラザ
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345
e-mail:info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
http://www.tokuvv.jp



マスコットキャラクター プラザ

ひと44号 september.2018 CONTENTS

特集 NPO法人 あわ・みらい創生社
地域の人たちの想いをカタチに

ひと なかまとともに30年～
けっしてあきらめないで
あけぼの徳島 代表 宮城 慶さん

子どもたちのボランティア活動
「学校ボランティア部！紹介」
鳴門市第一中学校ボランティア部

シリーズ この人から
子育て支援母子保健アドバイザー
「薊の会」 田口 許江さん

ハートリレー
No.44 大北さんから板さんへ

New face
NPO法人 セラピー乗馬てくてく育成会

NPO法人
あわ・みらい創生社

「NPO法人 あわ・みらい創生社」は、まちの魅力発信や地域ビジネスの支援、まちづくりに関わる人と人を繋ぐなどのミッションのもと、まちづくりの勉強会を始め、「阿波まちアラカルト」など訪れた人皆が楽しめるようなイベントを企画し、希望の持てるすてきな未来を創ることを目標に活動している団体です。まちを良くしたい皆さんの思いや具体的な活動内容をご紹介します。



地域の人たちの想いをカタチに

地域課題を解決する魔法のことば「エシカル」

代表理事 井原まゆみさん

すべての活動の始まりは、「人口減少社会への危機感」でした。「何気ない暮らしの中で楽しめること、未来の暮らしが幸せなものであるように今のうちにできることをしておこう!」という思いから、「NPO法人 あわ・みらい創生社」を設立しました。

私たちは、まちをより良くするために、まちづくりカフェ・米粉プロジェクト・キッズガーデンなど、5つのプロジェクトを進めています。その中でも、特に力を入れているのが「エシカル消費」です。

「エシカル消費」とは、環境・人・社会・地域に配慮して作られたものを買うことで、社会が良くなる消費のことです。この“魔法のことば”「エシカル消費」が、地域内経済の循環や地域の生業の存続、ひいては人口減少対策に繋がると思い、「うちの子もよその子もまちのだから」をキャッチフレーズにエシカル消費&CSR(企業の地域貢献)で子育て支援事業を始めました。

子育て支援を始めたきっかけは、ファミリーサポートセンターの料金が高く、利用したくてもなかなか利用できないとの声を聞いたからです。そこで私たちは、エシカルシール付き商品の販売と企業の地域貢献を組み合わせ、市民の誰もが簡単に支援に参加できる仕組みを考えました。お客さんにシール付きの商品を選んで買ってもらうことで、30円が子育て支援への寄付になります。

支援を続けていくことで、各家庭の負担を少しでも軽くできればいいなと思っています。そして、子育て支援が風土として根付くことを目標にしています。これからも、より多くの人に「エシカル」という言葉を知ってもらい、まちのひと、さらには県全域で、新たなエシカル旋風を巻き起こしていきたいです。



NPO法人 あわ・みらい創生社

あわ・みらい創生社の 応援隊です!

監事 吉田年子さん



普段は、かずらを編む会で活動しています。みんなで集まって、おしゃべりしながら編む、その空間がとても好きなんです。

また、花づくりも大好きで、庭にいろいろな花を植えています。今は、暮らしそのものが観光になる時代なんですね。育てている花を「阿波オープンガーデン」で皆さんに見ていただいて、それがまちの魅力発信に繋がるなんて素敵なことですね。

今は、少子化で子ども達の数も減っていますが、もっと人口を増やして賑わいのあるまちになってほしいです。これからも、趣味を楽しみながら、メンバーをサポートしていけたらいいなと思っています。

「もったいない」から始まった活動

理事 三木みずほさん

私自身は農園をやっているんですが、少し傷があるだけで市場に出せない野菜や果物がたくさんあるんです。捨ててしまうのはもったいないなと思っている時に、エシカルについて勉強する機会がありました。

すでに、市場に出せないものを農家から買い取り、ドライマトやジャムを作り販売していました。今まで捨てられていたものが農家の利益になり、さらに、無添加・無農薬の本当においしい野菜や果物で作られているので消費者のためにもなる。「もったいない精神」がエシカルにぴったりはまりました。

みんなが少しずつ、その地域に対する思いを持っていれば、まちは変わっていくのではないかと考えています。



自分の家庭の味を作ることができる 子どもに育ててほしい

理事 板東春香さん

高校卒業後、料理の道に進み、野菜ソムリエの資格を取りました。子ども達に野菜のことを楽しく学んでもらうために、野菜ソムリエが小学校に出向き、野菜に関するクイズや食べ比べなどを行っています。授業を受けた子ども達は、「キッズ野菜ソムリエ」の資格を得ることができます。徳島県では、阿波市が一番キッズ野菜ソムリエが多いんですよ。子ども達には、将来、自分の家庭の味を作ることができるようになって欲しいと願っています。

私自身は、地元の食材を使ったお野菜スイーツなどを作って販売しています。エシカルシールを貼ってある商品を選んで買っていただくと、市民の皆さんの善意で、支援が成り立っているんだなと嬉しくなります。



大好きな服作りで子育て支援

理事 大塚由加さん



小物や服、お菓子など、物を作ることが大好きなんです。作った服を店舗に置いてもらって販売していたのがきっかけで、地域ビジネス支援を行っていた井原さんと出会い、一緒に活動するようになりました。NPO法人の活動を通して、同世代だけでなく、いろいろな世代の方と交流することが、自分自身の向上にも繋がっていると思います。

エシカルの支援ができたことで、自分の好きな洋服作りで、子育て支援のお手伝いをできるのがとても嬉しいです。

(取材:丸山明美・秋月大輝)

特定非営利活動法人 あわ・みらい創生社

代表理事 井原まゆみ

住所:〒771-1702 徳島県阿波市阿波町四歩一55

E-mail: mym327.ihr@gmail.com

TEL: 090-2896-0074



宮城 慶さんは、後列右から2人

あけぼの徳島は、乳がん患者の支援や早期発見、早期治療のための啓発活動を行っている、全国組織「あけぼの会」の徳島支部として1998年2月に設立されました。現在会員は103名で、乳がん体験者や家族、賛同者で構成されています。

代表の宮城さんは、34歳のときに乳がんを発症され、右乳房の全摘術を受けられました。3歳と5歳のお子さんの子育て中でまだまだ子どもに手がかかる時期、当時は情報もなく「治療にお金がかかる、痛みながら亡くなる不治の病、がん＝死」と思い込んでいました。毎日、不安を抱えながら家事や仕事、子育てといっぱい生活の中、子どもを残して私は死んでしまうのかと途方に暮れたそうです。そんな時、病院の先生の協力で、乳がんに対する勉強会を開いたところ、100人を超えての参加者が集まりました。治療しながら生活しているたくさんの仲間に出会い、徳島に乳がんに対する情報を求めている人がこんな多くいたということに驚き、それをきっかけにあけぼの会徳島支部（あけぼの徳島）が誕生し、今年で30周年を迎えました。あけぼの徳島は乳がん患者が心の元気を取り戻すための支援活動と乳がんの早期発見、早期治療のための啓発活動の2つの目的をもって活動しています。主な活動は乳がん仲間と出会う場として3つのサロンを開設しています。

情報交換や術前、術後の悩みや不安を語り合う「あけぼのサロン」、再発・転移した人を対象にした「かがやきサロン」、若年性の患者が集まる「Sister」。サロンには情報を求めて多くの方が訪れます。それぞれの方が体験を話し合い、ともに考えることで、だんだん元気を取り戻していくそうです。また、設立当時から毎年「母の日」に早期発見の啓発活動を行ってられます。

あけぼの徳島

みやぎ けい
代表 宮城 慶さん

●連絡先
TEL: 090-3786-7865
E-mail: awa_akebono@yahoo.co.jp
http://wwwd.pikara.nc.jp/akebonotokushima/

乳がんは早期発見できれば助かる可能性が高くなります。宮城さんからお話を伺う中、私たち自身もセルフチェックや定期健診など、自分でできることで大切な命を守っていかねばならないと改めて思いました。インターネット等で多くの情報が得られる現在、どの情報が正しいのか、そうでないのか判断がつきにくい状況です。そのため、宮城さんは、手術方法などを自分で判断できるよう、患者自身が賢くならなければいけないとおっしゃいます。だからこそ、乳がんを経験した方々から直に話が聞けるサロンは貴重な場だと感じました。

宮城さんは、あけぼの会の皆さんを「大切な宝」だとおっしゃいます。背伸びをすることなく、しんどいときはしんどいと言え、辛いときはみんなの前で泣ける特別な友達、仲間だと。乳がんになったことは悔しいけれど、反対にたくさんの人との出会いがあり、たくさんの心ももらいました。支えてくれる家族や仲間の大切さ、健康のありがたさを実感したとお話してくださいました。

最後に、あけぼの徳島の今後をお伺いすると、「会員ひとりひとりが持っている力を発揮し、輝ける場にしていきたい」そして「私たちの体験を多くの人に伝え、早期発見をよびかけたい」「もし、がんになっても決してあきらめないで」と笑顔でお話してくださいました。

(取材：山田 奈津・向井 亜里紗)

子どもたちのボランティア活動

「学校ボランティア部! 紹介」 鳴門市第一中学校ボランティア部

鳴門市第一中学校ボランティア部は、現在20人の部員が協力して活動をしています。

普段は、校内の花の世話や、古紙やペットボトル・空き缶の回収とリサイクル、毎週土曜に社会福祉施設を訪問して清掃や配膳のお手伝いや利用者との交流など、様々な活動をしています。また、長期休暇中には、花火の後の清掃活動や新池川河川敷と渦潮ふれあい館で24時間テレビの募金のお手伝い等も行っています。

部員からは「人と話すのが苦手だけど施設訪問の時『孫がきた』と言ってくれてうれしかった」「地区の人と新池川の清掃をしていると会話ができて楽しい」「感謝してもらえてうれしい」「先輩がとても優しく、楽しく活動ができている」などの声が挙がっています。

鳴門市第一中学校ボランティア部は、これからも自分たちのまちのために、自分たちができることを考えつつ、思いやりの心を育みながら活動していきたいと考えています。



ボランティア部集合



回収したペットボトルの整理



各教室から回収した古紙の整理

シリーズ この人から

子育て支援母子保健アドバイザー「繭の会」 会長 田口 もとえ 許江

近年、我が国は少子高齢社会となり、国は高齢者対策と共に、少子化対策を打ち出し、各市町村において子育て支援事業を始めています。

私は、病院で看護師として働いていましたが、地域に役立つ仕事がしたいという思いから、33歳の時、3人の子育てをしながら徳島県立看護専門学校保助科の1期生として入学しました。卒業後は、元働いていた病院へ戻り、助産師として退職まで1500人の赤ちゃんを取りあげ、楽しい時間を過ごさせていただきました。

鳴門市においても平成27年度から、子育て支援対策事業を始めることとなり、妊娠から出産・子育てに関する相談や支援を目的に専任の保健師、助産師を常時配置するというので、私に協力依頼がありました。早速、退職した助産師に声をかけ、当初は5名で発足させました。各助産師は、退職後もそれぞれが、看護学校の講師、大学の非常勤講師、国保審査会の審査員、開業助産師、人形浄瑠璃の座員など、毎日忙しくしている人達です。月曜日から金曜日まで各自の都合に合わせてスケジュールを組み、現在、主任児童委員の助産師を加え6名で「繭の会」として母子保健アドバイザーの役目を務めています。

子育て世代のお母さん達の抱えている悩みの中には、私

達の世代から考えると、そんなに深刻に考えなくても思うような事もあります。今の世代は、メディア漬け（ママはスマホ、パパはパソコンなど）の生活も多いことから、深夜まで眠れない状態が続きストレスを感じている様子です。生活リズムの基本である生活習慣を整えることを優先に、各個人に応じたアドバイスを心掛けています。地域の人達と共に、若いお母さんたちの悩みや子育てにかかわっていきける場所を広げていければと考えています。

退職後の現在も、助産所を開設し、お乳が張って痛いとか、赤ちゃんが夜泣きして困るなど、依頼があれば夜でも訪問しています。元気でお役に立てることは幸せだと思いつつ奮闘している毎日です。



徳島文理大学人間生活学部児童学科非常勤講師・日本レクリエーション協会公認インストラクター・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者・保健師・助産師・看護師・とくしま学博士



イベントガイド

「かもっこタウン」開催

子どもたちがいきいきと活動するまち「かもっこタウン」を開催します。子どもたちが社会貢献活動団体の方たちから活動を教わり、一緒にいきいきと活動することにより、活動の内容や重要性を学びます。ぜひ、遊びに来てください!!

●「かもっこタウン」の概要

日時：平成30年10月7日(日) 10:00~14:50

場所：東みよし町立体育館

内容：NPOボランティア活動体験

(ステージ発表・製品販売等)

主催：認定NPO法人とくしま県民活動プラザ・社会福祉法人徳島県社会福祉協議会・徳島市市民活力開発センター

県内大学生のための「NPOおためし体験アドバンス事業」体験者大募集!!

NPO等団体と共に活動して、社会貢献活動をもっと深く知ってみませんか?活動したい団体を一覧から選んでいただき、プラザまでご連絡ください。希望される団体との連絡・調整はプラザ担当者が行います。詳しくはHPをご覧ください。
※ボランティアパスポート・SUDACHIカード対応

①	NPO法人エコロジカル・ファーストエイド (小松高市金磯町)
②	NPO法人 ALIVE LAB (アライブラボ) (徳島市昭和町)
③	正法寺川を考える会 (板野郡藍住町)
④	特定非営利活動法人フードバンクとくしま (徳島市昭和町)
⑤	特定非営利活動法人フェロシップ77 (徳島市住吉)
⑥	特定非営利活動法人日本防災士会・徳島県支部 (板野郡上板町)
⑦	特定非営利活動法人こどもねっといしい (名西郡石井町)
⑧	NPO法人眉山大学 (徳島市東新町)

問い合わせ/申込み先

とくしま県民活動プラザ (担当: 菊本・日下)

TEL: 088-664-8211 E-mail: linfo@plaza-tokushima.com

URL: //www.plaza-tokushima.com

一生、いい歯と付き合うために。

「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人
徳島県歯科医師会
会長 森 秀司

徳島市北田宮 1-8-65 電話 088-631-3977



くすりのご相談は
かかりつけ薬剤師・薬局へ!



一般社団法人
徳島県薬剤師会

会長 水口 和生

TEL 088-655-1100

FAX 088-655-6991



THE RIVER FACE

いた はなこ
元メンバー 板 華子さん

三好市の自然の魅力を発信

鳥取県出身の板華さんは、三好市に住むようになって6年目になります。大学時代に出会ったラフティングの魅力にとりつかれ、卒業後、三好市山城町を練習拠点に活躍する「リバーフェイス」のメンバーとして、社会福祉士のお仕事を続けながら、厳しい練習に励んでこられました。

昨年10月、山城町で開催されたラフティング世界大会でみごと優勝。三好市の自然や吉野川のすばらしさを、世界に、そして何より、ずっとこの地域に住んできた私たちに伝えてくださいました。

三好市での暮らしは、「とても楽しい、地域の人たちとの交流のなかで、本当にたくさんの人に助けられています」とおっしゃいます。ラフティングは引退されましたが、今はカヌーに挑戦しています。これからも、ウォータースポーツの楽しさ、そして、三好市の自然のすばらしさを伝えていく活動ができるよう頑張りたいとのこと。地域の皆さんと一緒に応援していきたいと思います。



おおきた けい こ
文・大北 慶子

New face NPO法人 セラピー乗馬てくてく育成会

■ 設立について

夫婦そろって乗馬が趣味。あちこちの乗馬クラブに行っていると費用がかさむ。それなら、自分たちで馬を飼おうと思ひ、5年前に2匹のポニーを手に入れました。馬は軽車両扱い。馬に乗って移動していたら、町の話題になり、遊びに来る人が増えてきたので、3年前から乗馬体験を始めました。口コミでだんだん広がり、今では会員数が40名を超えました。ホースセラピーを始めたのは、あるお母さんから、「子どもが学校のことで悩んでいる」と相談を受けたことがきっかけです。軽い気持ちで「馬乗ってみたら?」と勧めたところ、乗馬すると気持ちが落ち着く、リラックスできるとの反応がありました。ホースセラピーは、欧米では主流で、身体の不自由な方だけでなく、心に不安を持たれている方にも効果的であると言われています。法人としては、平成29年10月に設立しました。



代表理事 國永 孝

■ 現在の主な活動

① てくてくとセラピー乗馬

自閉症児、不登校の子ども、引きこもりの方の治療法として効果をあげているホースセラピー。馬に乗って視線が高くなり、自分よりも体の大きい馬を思い通りに動かすことによって、自信を持つことができるようになります。当法人では、次のプログラムを設定して、支援を行っています。

- ・不登校児、軽度発達障がい児のためのホースセラピー
- ・親子でホースセラピー ・家族で引馬体験 ・イベントに出張して乗馬体験

② てくてくと野菜作り

休耕地を利用して、馬糞を肥料にした野菜作りを子どもたちと取り組んでいます。スーパーに並んでいる状態の野菜しか知らない子どもたちに、野菜の育て方や収穫の仕方を教えています。また、野菜作りを通して、「命の大切さ」、「コミュニケーションの取り方」、「ひとの土地で収穫するときのルール」等を学ぶことができます。

■ これからのビジョン

乗馬だけでなく、いろいろな活動を関連付けてやっていきたいと思っています。今年11月には、阿波市リーダー育成成熟活動支援事業に伴う「メルカードプロジェクト」を展開し、収穫した野菜を子どもたちと市場で販売する予定です。農業資源を活かしてメルカード(市場)を開催し、出品物で来場者と交流を図り、阿波市の魅力を発信することが目的です。引きこもりの子どもたちにとっては、地域の人とコミュニケーションを図る場であり、人とかわりながら自信をつけていく場でもあります。読者の皆様のご来場、お待ちしております。(取材: 菊本 佳孝・日下 睦子)

NPO法人
セラピー乗馬
てくてく育成会

〒771-1506 徳島県阿波市土成町土成字漆畑184番地13

TEL: 090-1007-9553

URL: https://tekutekucat.amebaownd.com

Mail: therapyhorseridingtekuteku@gmail.com

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(認定特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

●プラザ開館時間

開館時間: 10:00~18:00

【研修室利用時間】

火曜日~土曜日: 10:00~21:00

日・祝日: 10:00~18:00

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



● 公共交通機関をご利用の場合 ●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
- ・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリナーミナル」下車すぐ
- ・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集後記

暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしですか。我が家の猫は少々夏バテ気味で、毎日ひんやりしたフローリングでゴロゴロ...

ところで、猫は水を飲む量がもともと少ないこともあり、脱水症状を起こしやすいのだそうです。そんな猫ちゃんに水を飲んで貰うために、ささみなどの茹で汁を少し与えると良いようです。ささみ自体も餌に混ぜてあげることで食欲も増進。

まだまだ暑い日が続きます。人もペットもしっかり水分と栄養を取り、夏バテや熱中症に注意して夏を乗り切りたいですね。(榎本 郁実)

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎

徳島市幸町3丁目61番地

TEL 088-622-0264

CLE NUP 吉野川をきれいに! 参加団体、募集中。

吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
県民環境政策課内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2758
E-mail office@yoshinogawa.org
http://www.yoshinogawa.org/

ふくしと私



社会福祉法人白寿会

阿波老人ホーム白寿園

生活相談員 犬伏 いぬぶし

功二 こうじ

私が福祉について考える時に浮かんでくるのは25年程前、県外に高齢夫婦で二人暮らしをしていた祖父のことです。

祖父の介護負担を軽減するため、夜間に家政婦のサービスを利用していました。歩行が不安定な状態で頻りにトイレに行こうとすることに負担を感じた家政婦が、祖父の手足を紐のような物でくくりつけていたという知らせを聞いた時、言葉にならない感情を抱いたことを思い出します。

祖父は早朝から夜間まで仕事に励み、子どもが大好きでした。近所の子どもまで自分の子どものように大切にしており私は祖父を尊敬していましたが、そのような状態、虐待にあっていたことを後で聞いたこと。それが私にとって福祉について考えた最初の機会でした。

福祉関係者は誠実で、奉仕の精神があつて当然とさえ思っていたので、どうしてもそのような事が起

こつてしまったかを知る為にこの仕事に興味を持つようになりました。

私が知る限り、福祉関係者は誠実で献身的な方だと思えます。社会的に見れば低賃金で負担やストレスも多い職種ですが、「人が幸せになるために考え行動していくこと」を仕事にできること。そのことの持つ意味は大きいと思えます。



す。近い将来には、すべての福祉関係者の社会的待遇の向上も実現すればと、切に願っています。

現在、福祉サービスを利用されている方も増え、契約し権利としてサービスを利用するという流れが定着しつつあります。それは今までの福祉の状況を振り返ると確実に前進していますが、人は傲慢になつてしまふ危険性があるために注意が必要です。

これから福祉関係者はもとより、福祉サービスを利用する方も、「自分と同じく他者の事を思いやり、痛みや辛さをも受け入れながら幸せになるために歩む」生き方を築き、伝えていく使命があるように思っています。

それぞれの価値観、痛みをも社会全体で受け入れられ、自分らしく、また、他者らしさもあつたままを感じ大切にしていける社会づくり、そういうものが築き上げられる為にすすんでいければと思います。



すべてのNPO法人のみなさまへ 「特定非営利活動促進法」改正のご案内

貸借対照表の公告が必要となります。
毎年度、貸借対照表を公告する方式となり、「資産の総額」の登記が不要となります。
(法律28条の2関係)

Q いつ時点の貸借対照表から公告が必要となりますか？

A 平成30年10月1日以後に作成する貸借対照表が対象となります。ただし、平成30年9月30日以前に作成した貸借対照表で直近のもの(特定貸借対照表)についても公告する必要があります。

Q どの程度の期間、公告が必要ですか？

A 電子公告を選択する場合は、約5年間、継続して公告する必要があります。

Q 既に定款で公告方法を定めている場合、定款変更は必要ありませんか？

A 定款に「この法人の公告は、官報に掲載して行う。」と規定されている場合は、貸借対照表についても官報掲載が必要となります。貸借対照表の公告のみを、現行定款で規定されている方法とは別の方法(電子公告等)とすることは可能であり、その場合は定款変更が必要となります。



ありがとうございます

預託 ●株式会社太田ボタン店様より、県内社会福祉施設10ヶ所へ生地見本のご寄贈 ●株式会社JR四国ホテルズホテルクレメント徳島様より、県内高齢者施設11ヶ所へピアガーデン招待 ●徳島県阿波牛販売推進協議会様、徳島県食肉荷受株式会社様より、児童養護施設7ヶ所へ阿波牛肉50kgのご寄贈 ●全国農業協同組合連合会徳島本部様、JA徳島農政協議会様より児童養護施設7ヶ所へ新米500kgとサ・すだち10箱のご寄贈

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

平成30年度

全国200万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

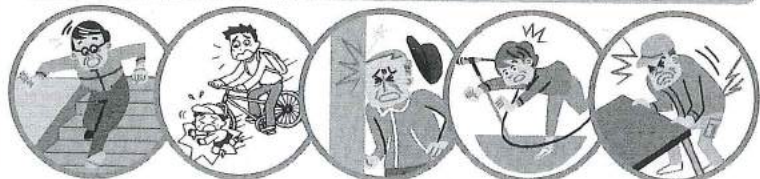
(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金額		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	1,400万円(限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
賠償責任	葬祭費用保険金(特定感染症)	300万円(限度額)	
	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※)	(基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引渡先〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

卓越した価値を提供し、
地域・お客さまと成長していく
良き「パートナー」をめざします

地域密着一等星銀行へ



環境にやさしい銀行を目指し
環境保全活動に取り組んでいます。



©2003 TOKUGIN

徳島銀行
<http://www.tokugin.jp>

「地域づくり」「暮らしづくり」も視野に入れた事業展開をめざして参ります。



第67回四国老人福祉施設関係者研究大会



平成29年度認知症介護実践リーダー研修

徳島県老人福祉施設協議会は、徳島県内にある特別養護老人ホーム等204施設で組織され、県内にある老人福祉施設等の充実と経営管理を効果的に推進し、全県的な連絡調整や、事業に関する調査・研究・協議とその実践を図り、老人福祉事業の発展に貢献することを目的に、日々活動を行っております。特に、介護業界を取り巻く環境は非常に厳しく、少子高齢化の急速な進行に伴う、高齢者人口の増加と、慢性的な人材不足については課題が山積されている現状があります。

このため、本会では介護人材の確保・育成・定着のため、介護のイメージアップに努めるとともに、働きやすい環境の整備、職員がスキルアップできる場づくりや、その専門性を活かした地域への貢献活動を推進しています。

また、「介護予防」や「フレイル予防」を目標に、将来的には各施設で健康づくり教室等を開催し、住民の健康寿命を延ばすため、ADL(日常生活動作)や、IADL(手段的日常生活動作能力)の改善を通じた社会保障制度の維持、拡充に貢献したいとも考えています。高齢者を取り巻く生活環境は、核家族化による世帯構成や生活様式の変化により、年々厳しさを増しています。

このような状況から、本会では、住民生活の在り方を含めた「地域づくり」「暮らしづくり」も視野に入れた事業展開をめざして参ります。

会長 大塚 忠廣

すべてのお年寄りや介護を必要とされる方が、安心して生活できる地域社会をめざして

いつもに生きる豊かな福祉社会を目指して 今回は、本社協に事務局を置く団体を紹介しします。

徳島県保育事業連合会は、徳島県内にある公立及び私立保育施設等213施設で組織され、日々、保育振興のための事業を企画・実施することで、児童福祉の増進に貢献することを目的に、様々な研修を通し、会員の資質向上に繋げたり、これからの組織強化に向け理事会等で様々な協議を行っております。

特に平成30年度は、会費徴収規程の見直しを行い、各会員保育施設等において職員の入替え等があった場合でも、会員施設の職員であれば必要な研修を直ぐに受講できるようにしました。これにより、職員の技術や知識等のスキルアップに繋がると考えています。また、幼稚園の先生から、本会が実施する研修会へ参加希望があったことがきっかけで、研修の参加対象を広げ、現在では、実施する様々な研修会に、保育所と幼稚園が相互に参加できるようにになりました。このように、参加者がお互いを知り、お互いの知識を得ることができるとなっています。

一方、保育士や給食調理に関わる職員数の課題がありますが、機会があるごとに行政にも働きかけ、子どもたちのために、よりよい施設運営を実現していきたいと考えています。保育現場に携わる職員のスキルアップと子育て力をエンパワーメントし、保育施設の組織強化と将来を見据えてのパワーアップを掛け声に、すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして参ります。



幼児教育研修



乳児保育研修

徳島県保育事業連合会は、徳島県内にある公立及び私立保育施設等213施設で組織され、日々、保育振興のための事業を企画・実施することで、児童福祉の増進に貢献することを目的に、様々な研修を通し、会員の資質向上に繋げたり、これからの組織強化に向け理事会等で様々な協議を行っております。

特に平成30年度は、会費徴収規程の見直しを行い、各会員保育施設等において職員の入替え等があった場合でも、会員施設の職員であれば必要な研修を直ぐに受講できるようにしました。これにより、職員の技術や知識等のスキルアップに繋がると考えています。また、幼稚園の先生から、本会が実施する研修会へ参加希望があったことがきっかけで、研修の参加対象を広げ、現在では、実施する様々な研修会に、保育所と幼稚園が相互に参加できるようにになりました。このように、参加者がお互いを知り、お互いの知識を得ることができるとなっています。

一方、保育士や給食調理に関わる職員数の課題がありますが、機会があるごとに行政にも働きかけ、子どもたちのために、よりよい施設運営を実現していきたいと考えています。保育現場に携わる職員のスキルアップと子育て力をエンパワーメントし、保育施設の組織強化と将来を見据えてのパワーアップを掛け声に、すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして参ります。

会長 大和 忠広

すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして

たくさんの応援本当にありがとうございました。

関係各位の御協力並びに県民の皆様御好意により、お蔭さまをもちまして、総数1,035本のスコップなどを提供いただきました。

四国の輪 応援プロジェクト



愛媛県大洲市 災害ボランティアセンター到着



徳島県社会福祉協議会出発

この度の「四国の輪」応援プロジェクトにおきましては、平成30年7月豪雨で被害を受けた地域の復旧・復興を応援するため、災害ボランティア活動に必要なスコップの提供をお願いしたところ、県内の企業や社会福祉施設、市町村協等の関係団体、また中学校生徒会や多くの一般県民の皆様などから、総数1,035本をご提供いただきました。皆様からいただいた善意は、愛媛県大洲市災害ボランティアセンターにお届けし、被害を受けた地域において災害ボランティア活動等で活用いただきました。ご支援・ご協力いただきありがとうございました。



日開野 博

とくしまボランティア推進センター運営委員長。徳島県下や中国・四国管内のボランティアの組織活動や福祉のまちづくり活動・地域福祉活動推進アドバイザー等として広く活動中。

子どものボランティア学習の源流の一つ 「つなごま子ども民生委員制度」

徳島には全国から注目されていた「子供民生委員制度」がありました。昭和21年、徳島県民生委員連絡会事務局の平岡国市氏の提唱で「すべてのお友達を幸福にしよう」をスローガンに、子どものボランティア活動のために創設されたもので、昭和22年には県下一円に小中学校で推進されました。

その活動は大人の民生委員や地域ボランティアと共に「平和の心と福祉の心を根付かせる社会貢献活動」を行うことでした。その活動の一端が刻まれているのが昭和23年に設置された徳島中央公園の「子供平和記念塔」です。その後、子どもの学習活動や時代の変化と共に消えていきましたが、現在もその活動が継続され残っている学校が石井町の「藍畑小学校」です。子どもたちが地域の一員として地域ボランティア活動することは、現代において極めて重要なものであり、全国から注目され視察も絶えません。

徳島県民生委員協議会では、その活動を復活させるため平成28年度から県下5か所の単位民生委員協議会を交替でモデル指定して、子ども民生委員活動推進の取り組みが進められています。